



県内経済情勢 (令和2年10月判断)

令和2年10月28日

財務省関東財務局
千葉財務事務所

照会先

千葉財務事務所 財務課 (TEL:043-251-7213)

ホームページ <http://kantou.mof.go.jp/chiba/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる」

項 目	前回（2年7月判断）	今回（2年10月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	

（注）2年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項 目	前回（2年7月判断）	今回（2年10月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では下げ止まりつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	
生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響による減産の動きがみられ、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	
設備投資	2年度は増加見込みとなっている	2年度は増加見込みとなっている	
企業収益	2年度は減益見込みとなっている	2年度は減益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超で推移している	「下降」超で推移している	
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年を下回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、新型コロナウイルス感染症が県内経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある」

スーパー及びドラッグストア販売額は前年を上回っている。コンビニエンスストア販売額は前年を下回っている。百貨店販売額及び乗用車の新車登録届出台数は前年を下回っているものの、緩やかに持ち直している。娯楽業・宿泊業等は依然厳しさが残るものの、持ち直しの動きがみられる。このように、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- マスク着用や外出自粛の影響により、化粧品・日焼け止めや夏レジャー関連(花火など)が不調となったものの、マスク・消毒液のほか、自宅での飲酒需要から第3のビールやおつまみ類も伸長したことから、売上高は前年を上回っている。(ドラッグストア、中堅企業)
- 外出自粛に加え、天候要因(長梅雨や猛暑)の影響もあり、来店客数は前年を下回っているものの、営業時間の拡大や自粛していた物産展を再開する等により、足下では来店客数は回復傾向にある。(百貨店・スーパー、中小企業)
- 通勤等でマイカーの利用を促進している企業が増え、コロナ禍で使わなかった手元資金を車の購入に充てる動きがみられるほか、新車投入効果等もあり、新車販売台数は前年並みにまで回復してきている。(自動車販売、中小企業)
- 周辺娯楽施設の入場制限の影響や秋シーズンの修学旅行のキャンセル等から、客室稼働率は前年を大幅に下回っているものの、臨時休館していた4-6月期を底として回復傾向にある。(宿泊業、中小企業)

■ 生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる」

生産を業種別にみると、石油・石炭製品などが減少しているものの、化学、食料品などが増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。

(主なヒアリング結果)

- リモートワークの急速な普及に伴い、関連製品(パソコン等)向けの需要が伸びたことから、生産量は増加している。足下では、当該需要が一巡したことから、伸びは落ち着いている。(化学、大企業)
- 業務用は外食需要の縮小に伴って減少が続いているものの、4-6月期に比べて回復傾向にある。(食料品、大企業)
- 輸送用燃料(ガソリン、軽油、ジェット燃料等)、その中でも特にジェット燃料の大幅な需要減により、生産量は減少している。足下でも航空需要は回復しておらず、いまだ回復の兆候は見えていない。(石油・石炭製品、大企業)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

有効求人倍率は低下している。新規求人数は増加している。雇用保険受給者実人員は増加している。

(主なヒアリング結果)

- 鉄鋼需要の急減に対応するため、雇用調整助成金を活用し、一時帰休を実施している。(鉄鋼、大企業)

■ 設備投資 「2年度は増加見込みとなっている」

○ 法人企業景気予測調査(2年7~9月期調査)による2年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比増減率▲21.4%の減少見込み、非製造業では同13.9%の増加見込みとなっており、全規模・全産業では同9.3%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「2年度は減益見込みとなっている」

○ 法人企業景気予測調査(2年7~9月期調査)による2年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比増減率▲14.7%の減益見込み、非製造業では同▲30.2%の減益見込みとなっており、全規模・全産業では同▲27.9%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超で推移している」

○ 法人企業景気予測調査(2年7~9月期調査)による景況判断BSIをみると、全規模・全産業で「下降」超で推移している。2年10~12月期の先行きについては、全規模・全産業で「下降」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

○ 新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を下回っている。

(主なヒアリング結果)

- 緊急事態宣言中は住宅展示場への客足が遠のいていたものの、7月から客足が戻り始めている。(住宅建設、大企業)

■ 公共事業 「前年を上回っている」

○ 公共工事請負金額をみると、前年を上回っている。

県内経済情勢 (令和2年10月判断)

(資料)

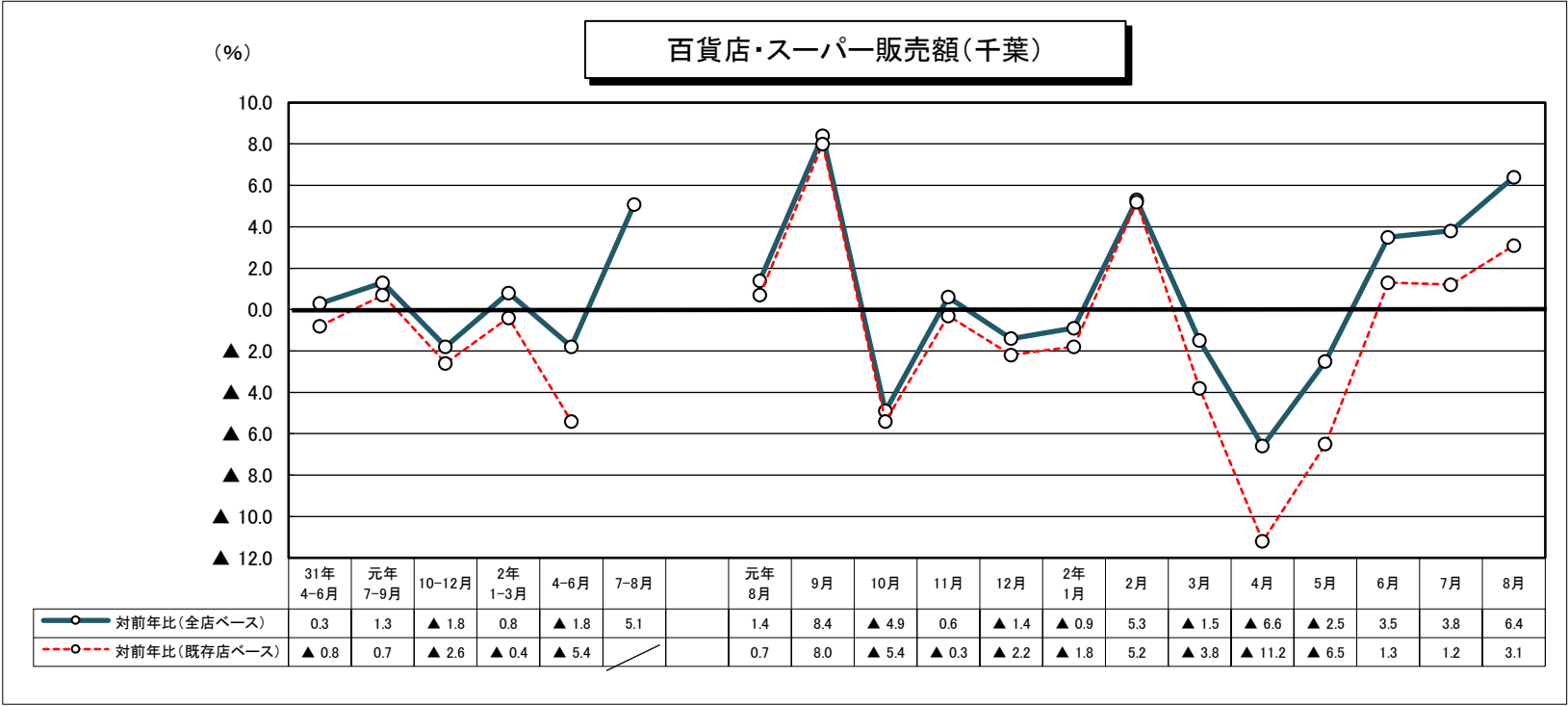
目次	(頁)
1 . 個人消費	1、2、3
2 . 生産活動	4
3 . 雇用情勢	5
4 . 設備投資	6
5 . 企業収益	6
6 . 企業の景況感	7
7 . 住宅建設	7
8 . 公共事業	8
9 . 倒産	8

令和2年10月28日

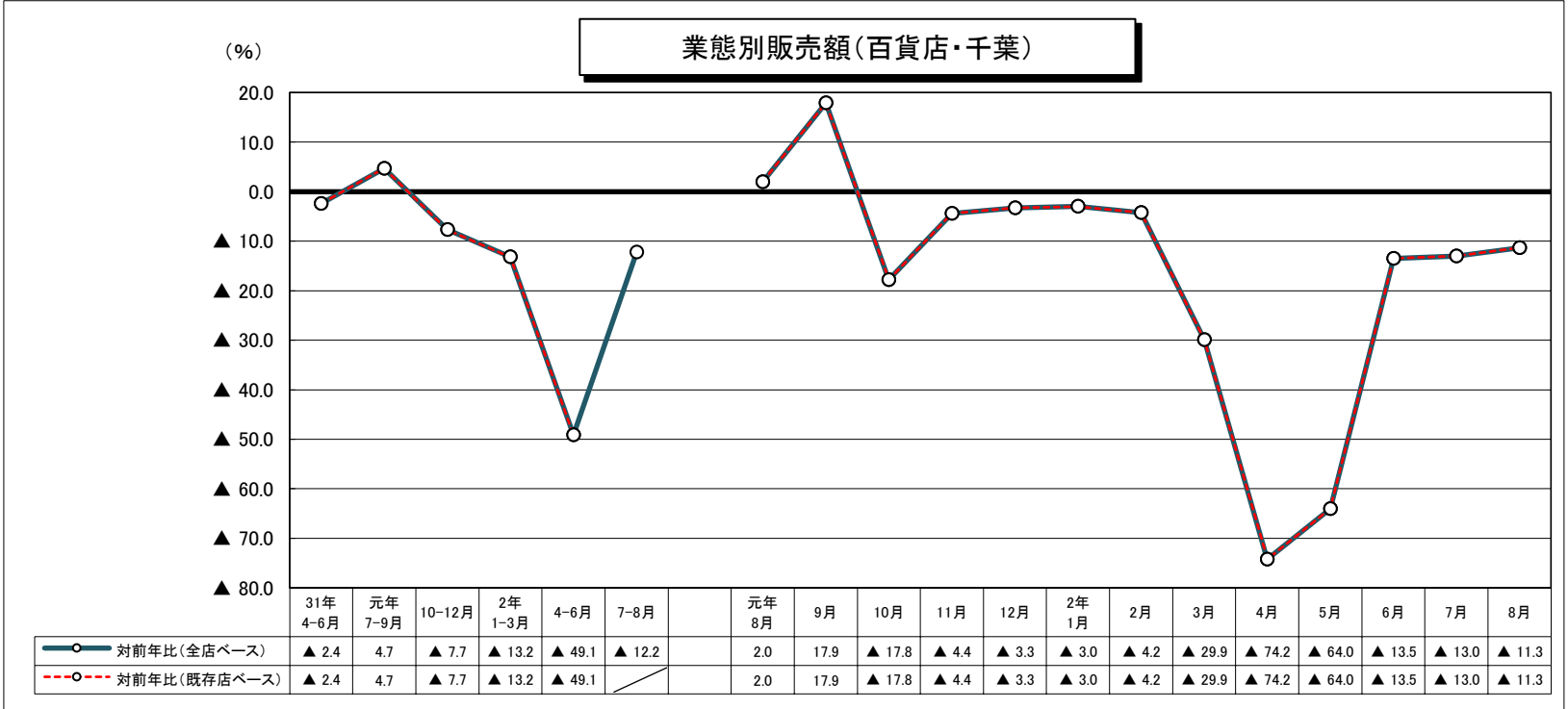
財務省関東財務局
千葉財務事務所

1. 個人消費

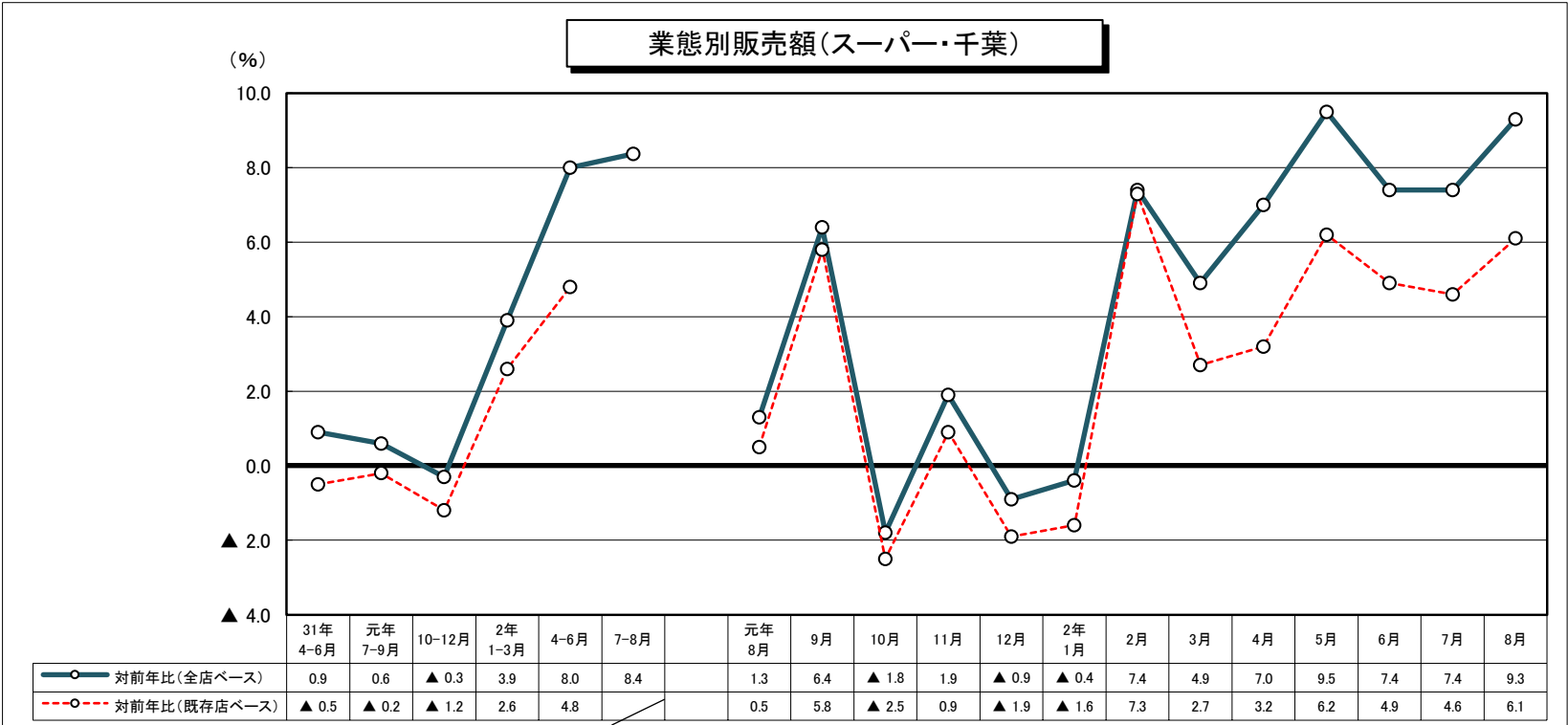
新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、
持ち直しつつある



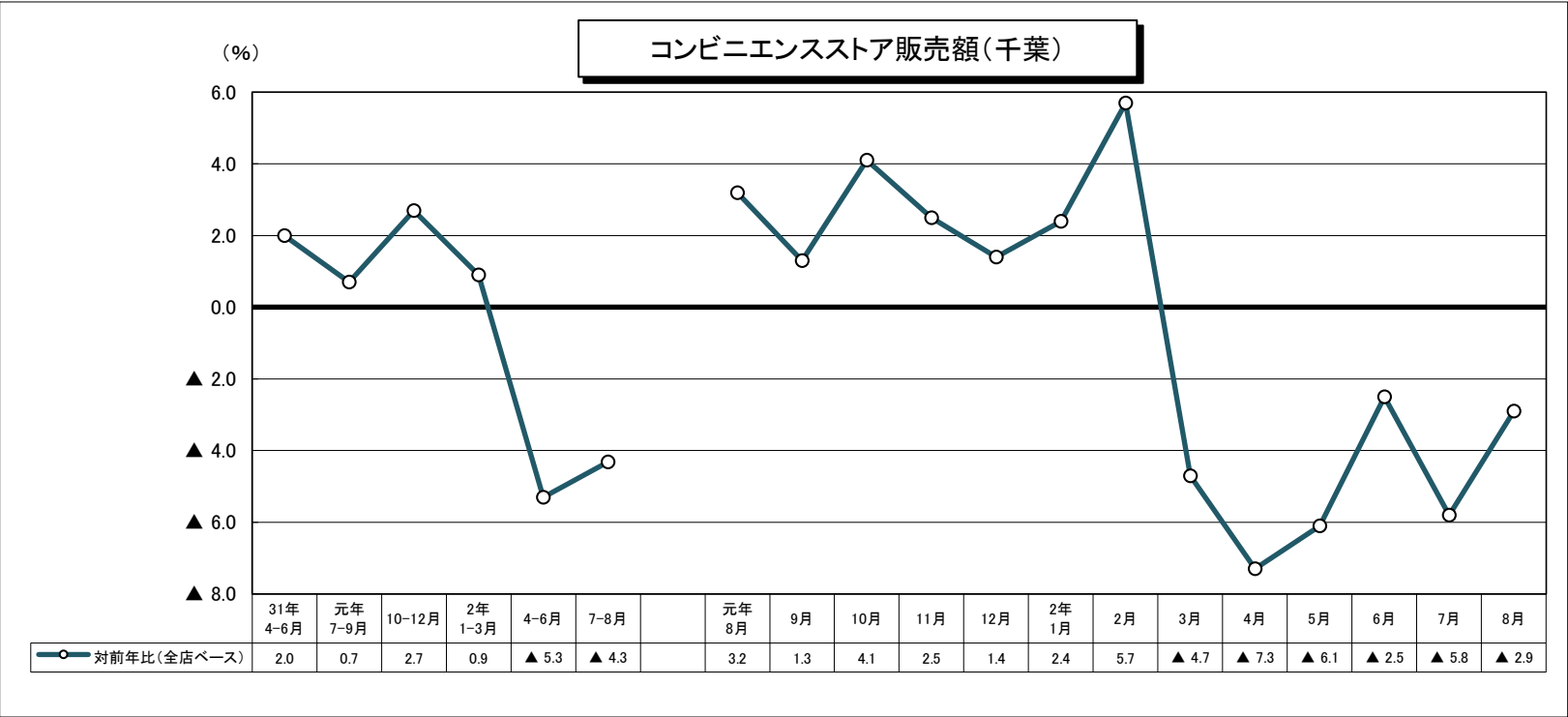
[経済産業省]



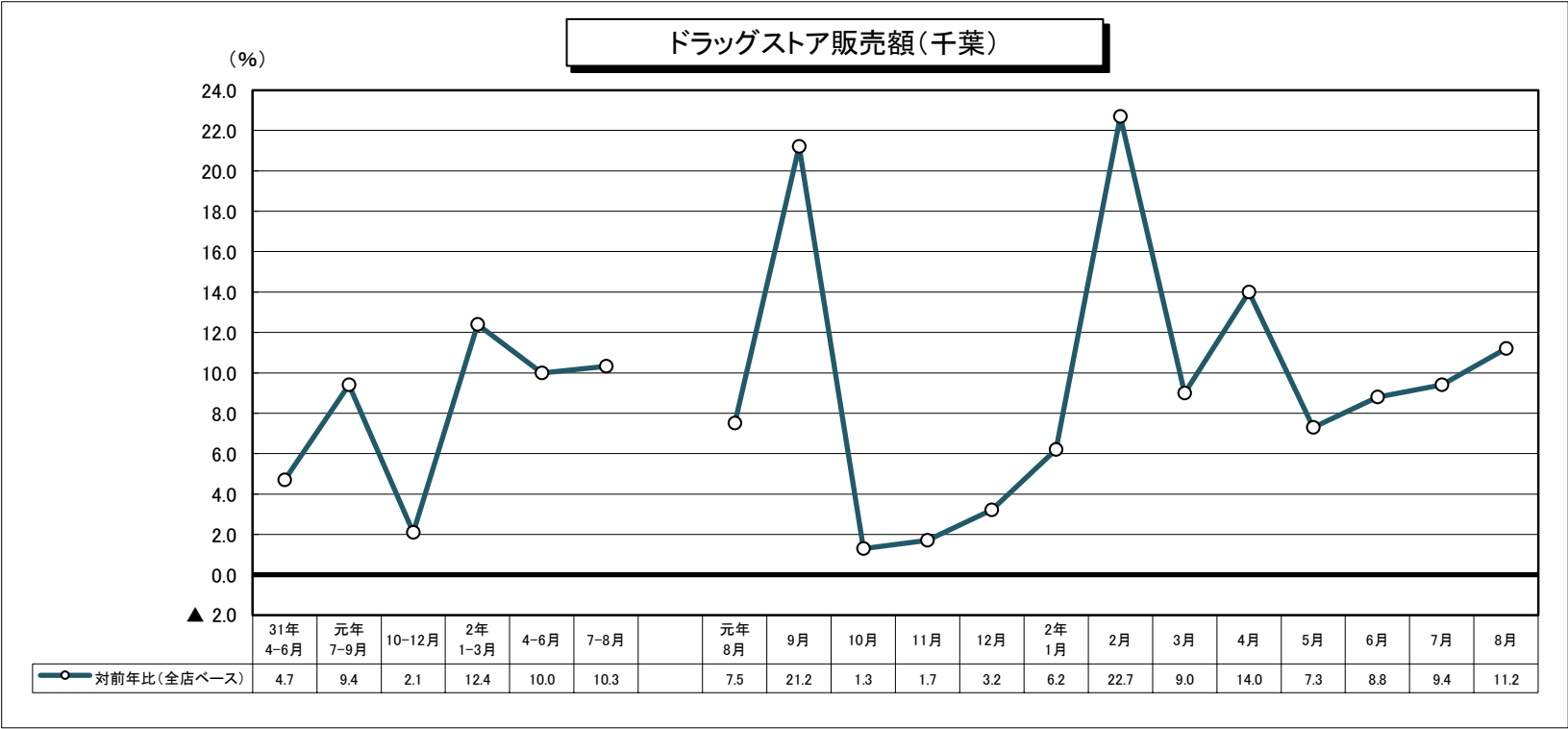
[経済産業省]



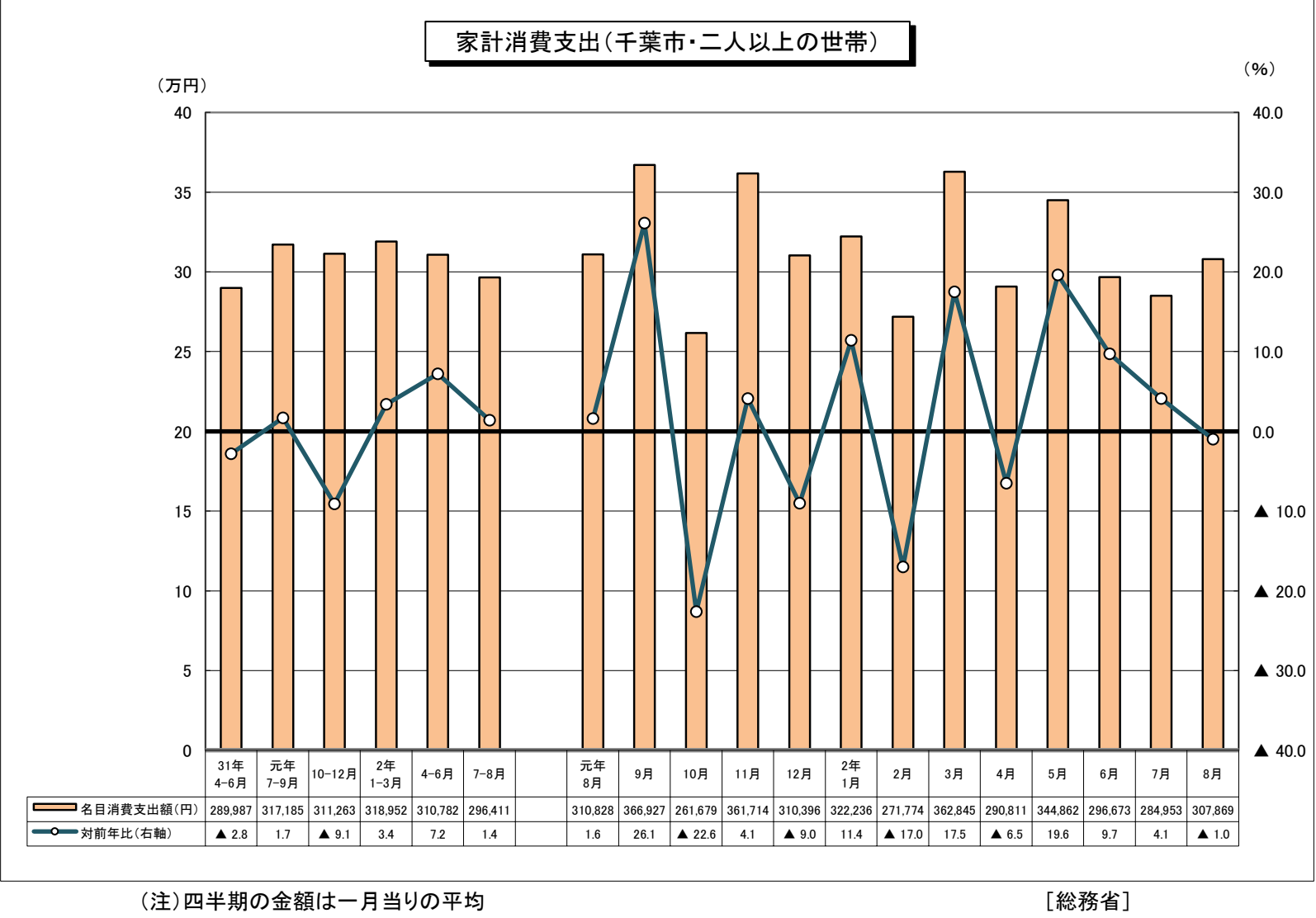
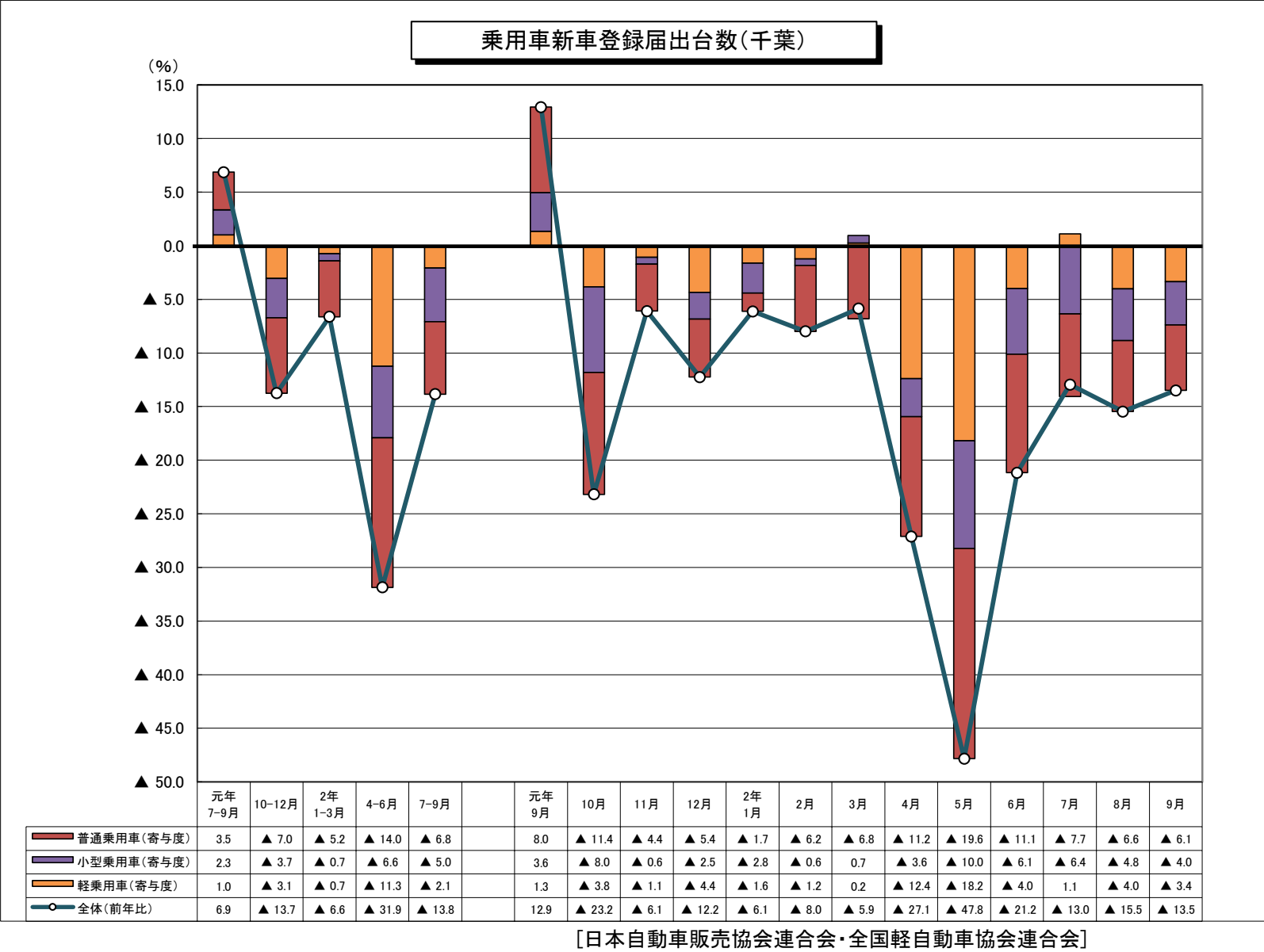
[経済産業省]



[経済産業省]

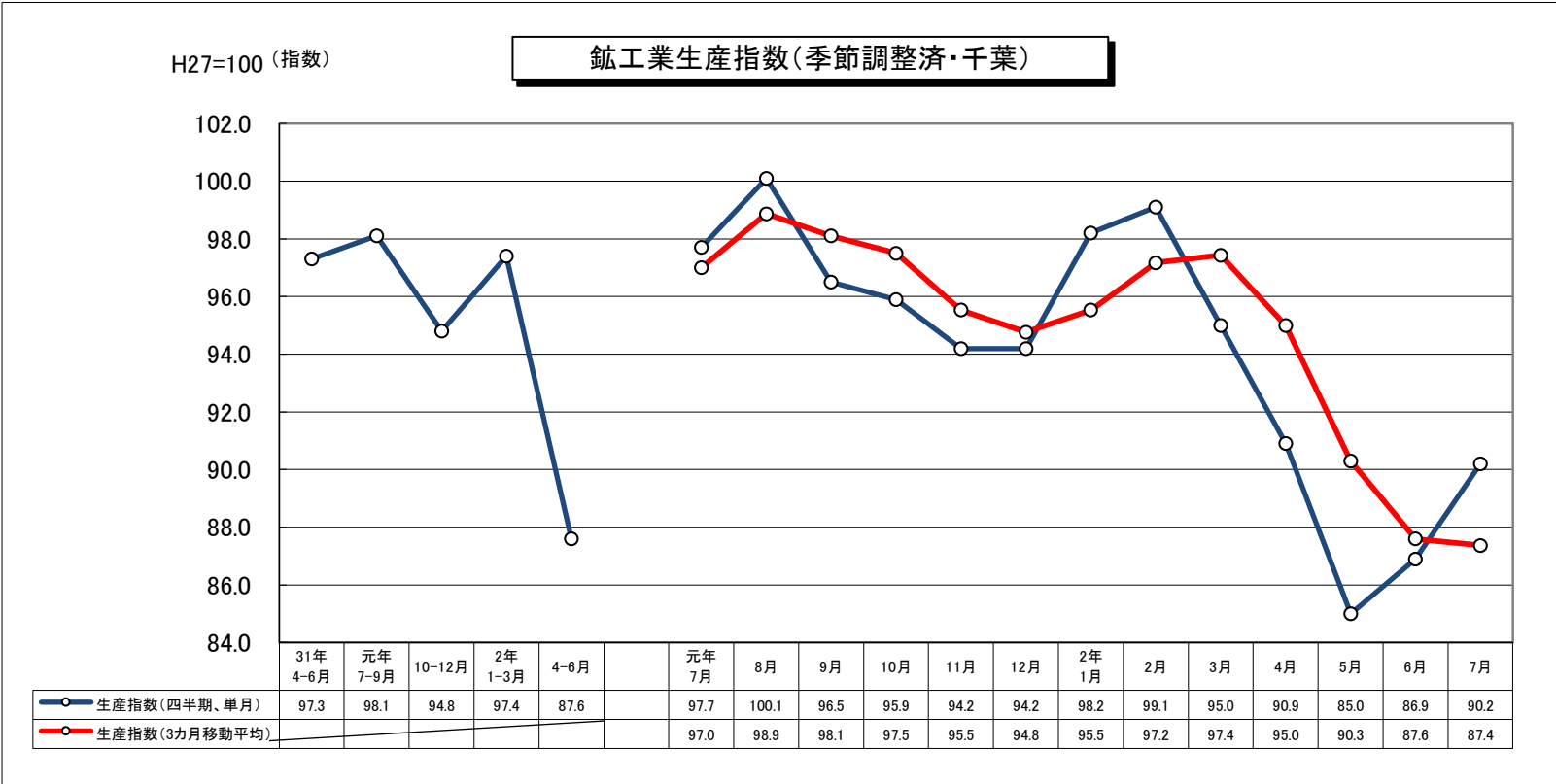


[経済産業省]

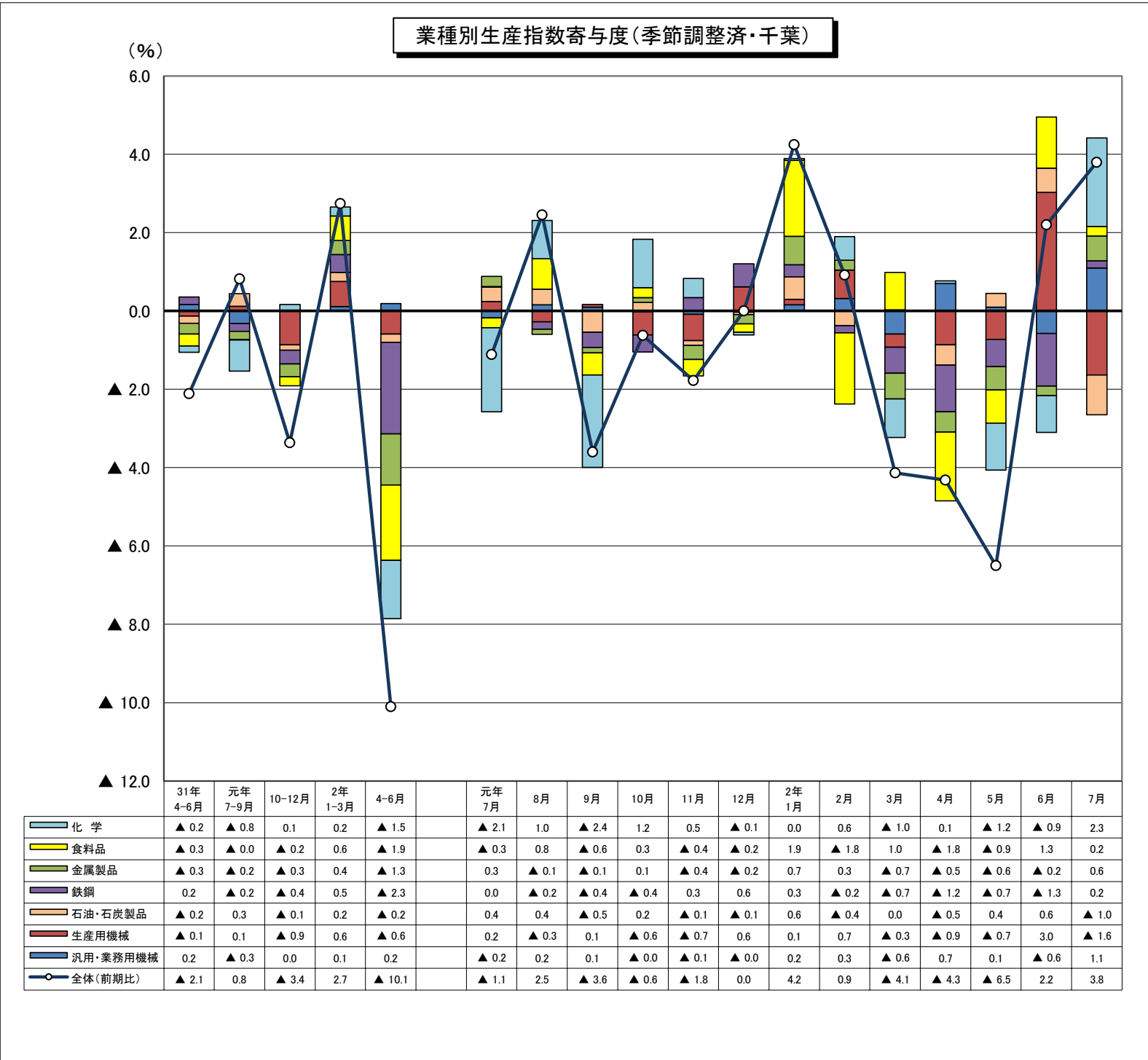


2. 生産活動

新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、
持ち直しの動きがみられる



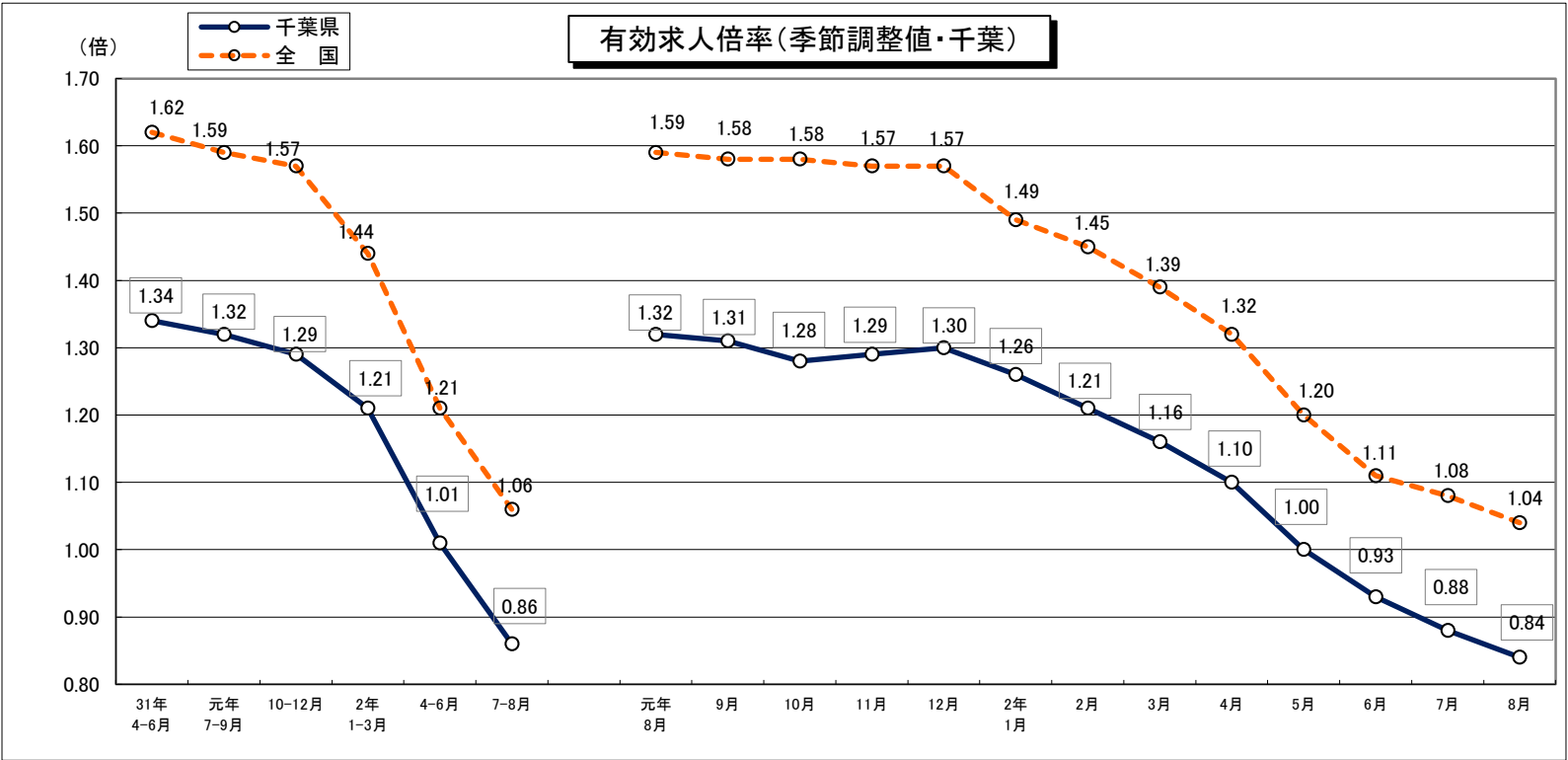
[千葉県]



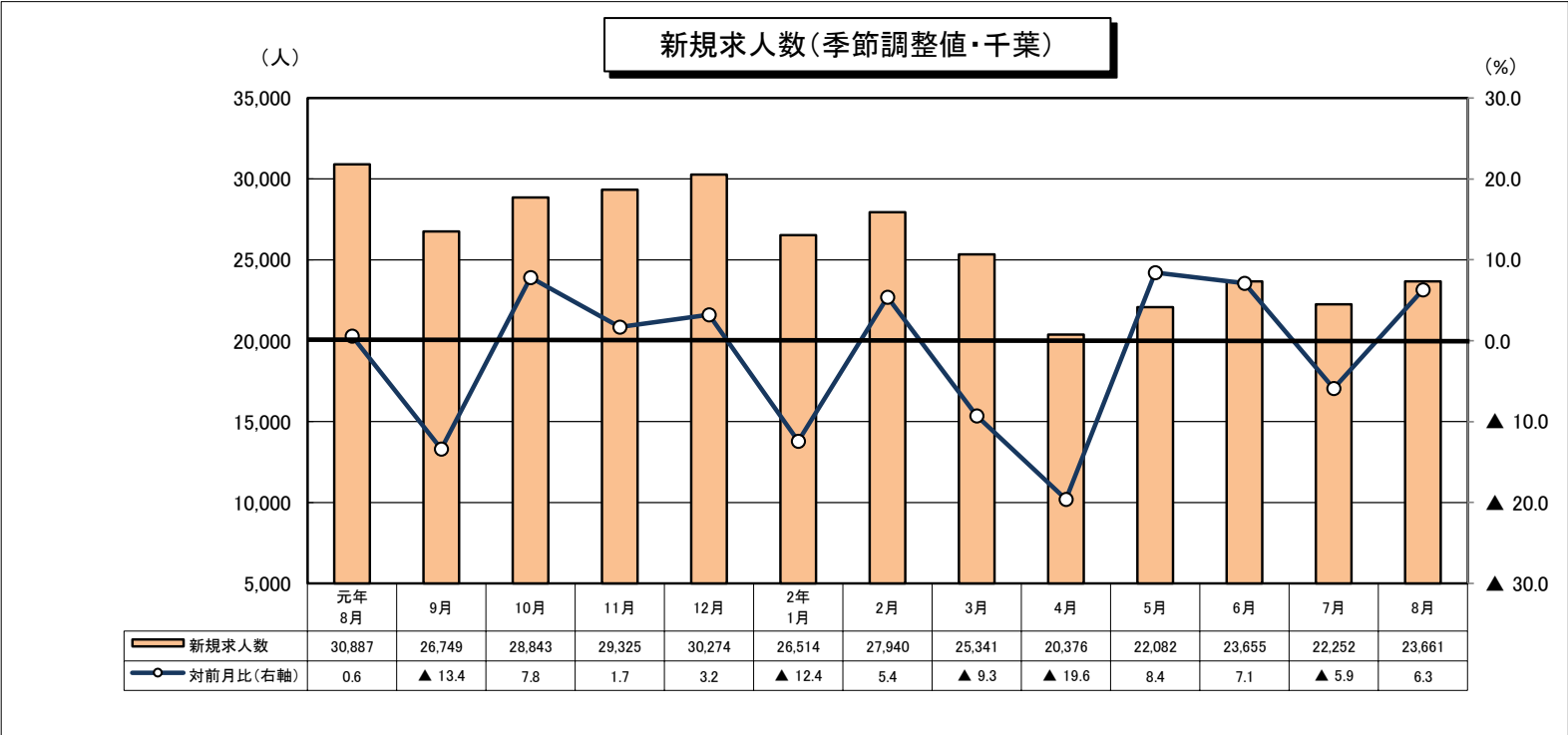
[千葉県]

3. 雇用情勢

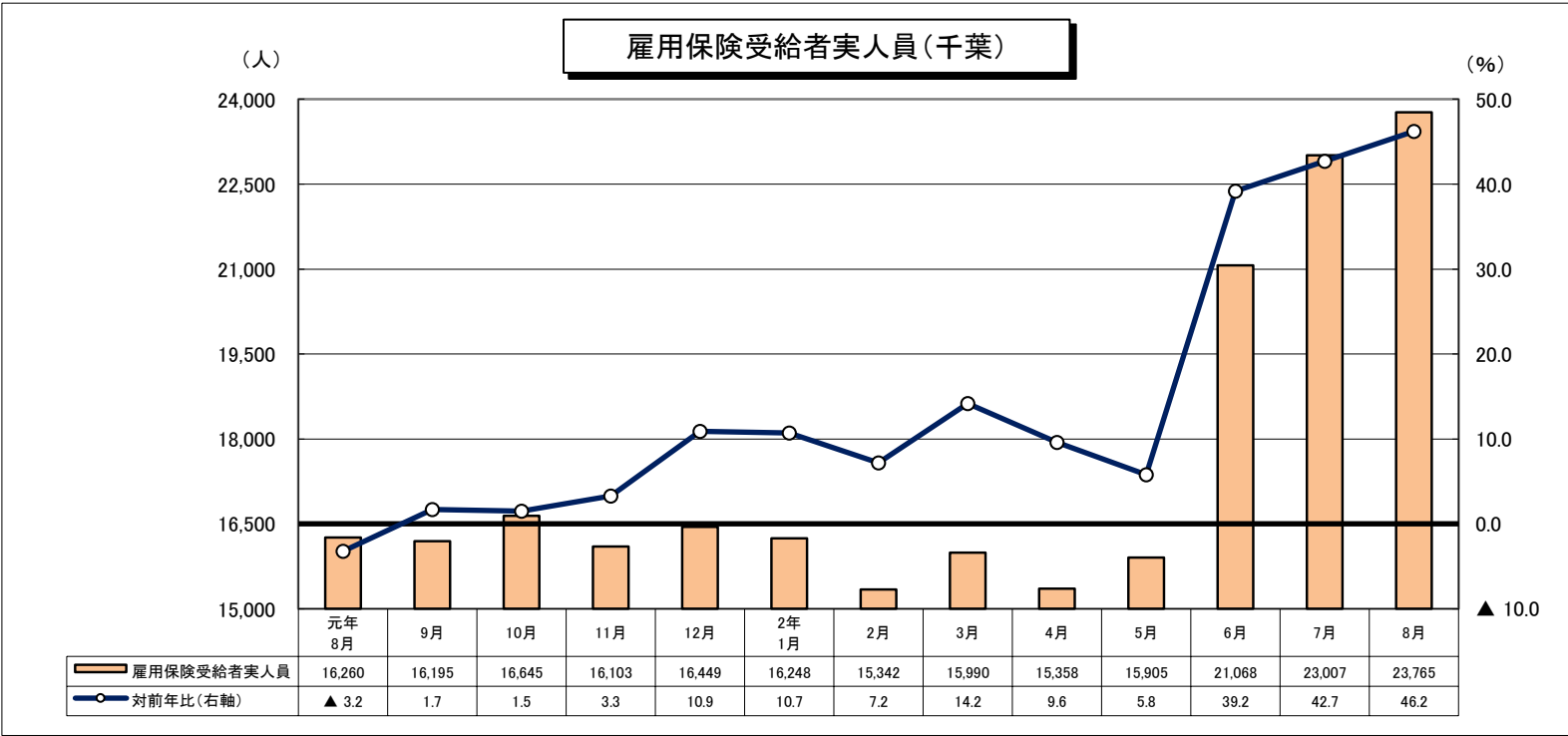
新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている



(注) 四半期は期中平均である。 [厚生労働省・千葉労働局]



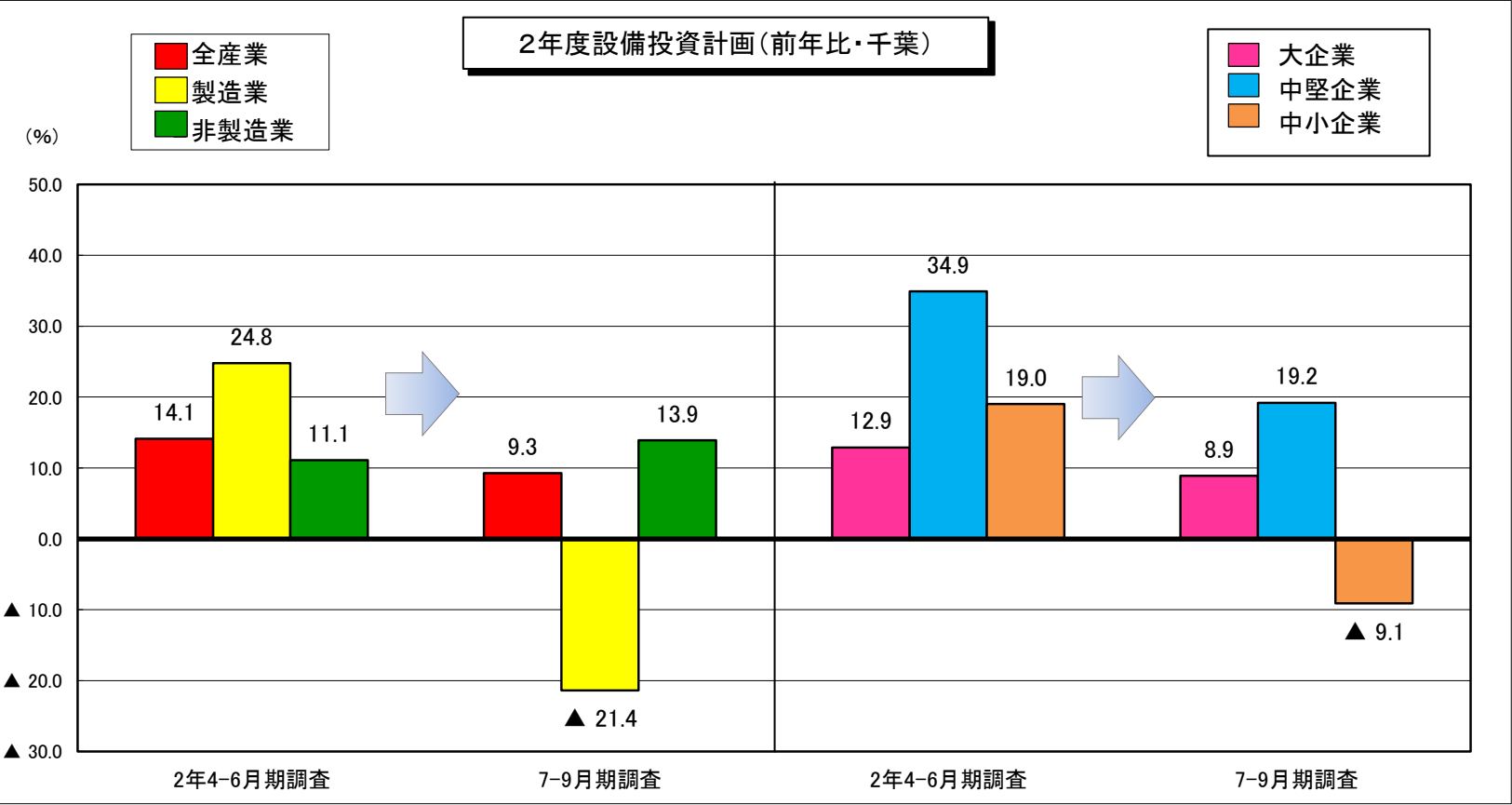
[千葉労働局]



[千葉労働局]

4. 設備投資

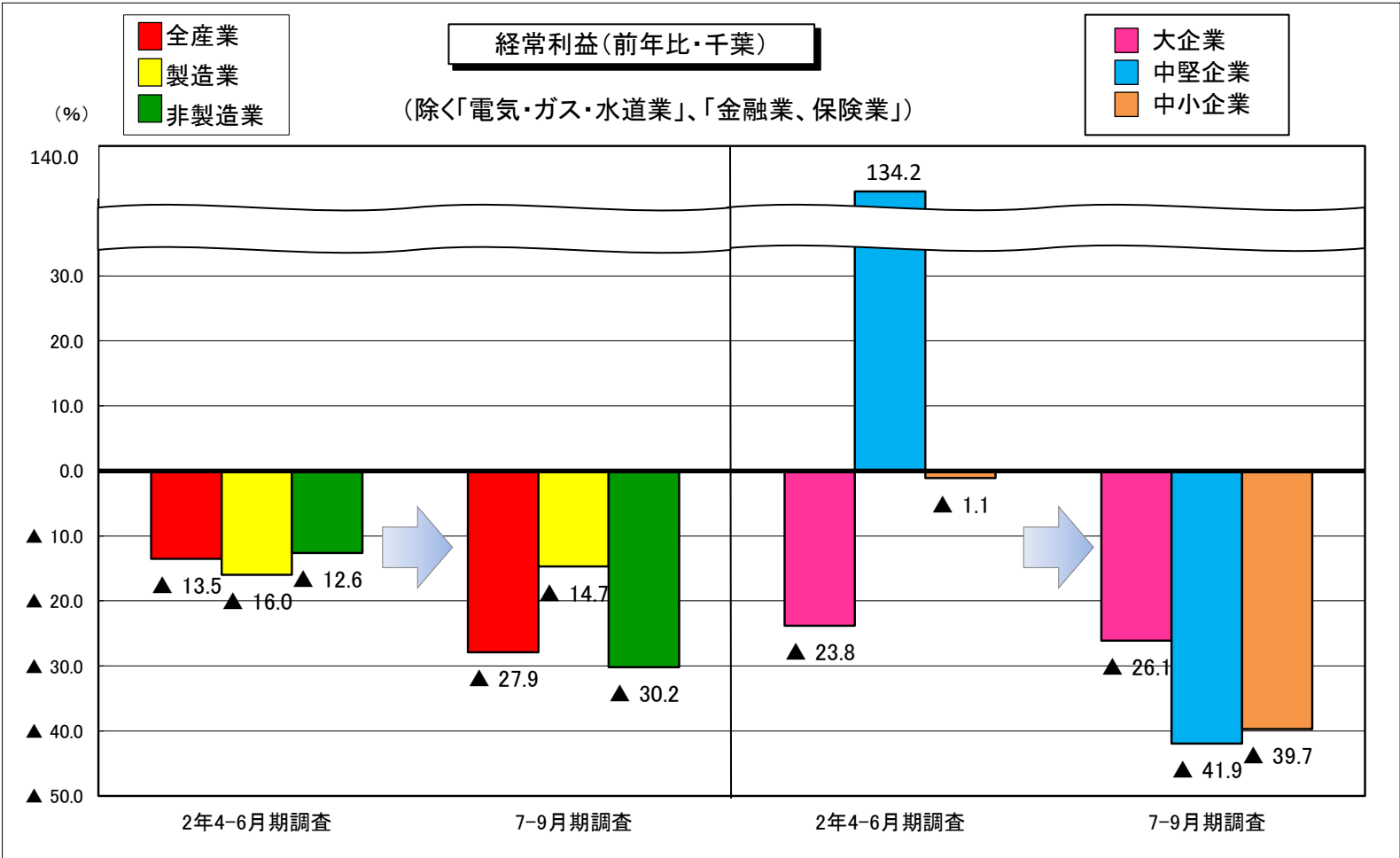
2年度は増加見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

5. 企業収益

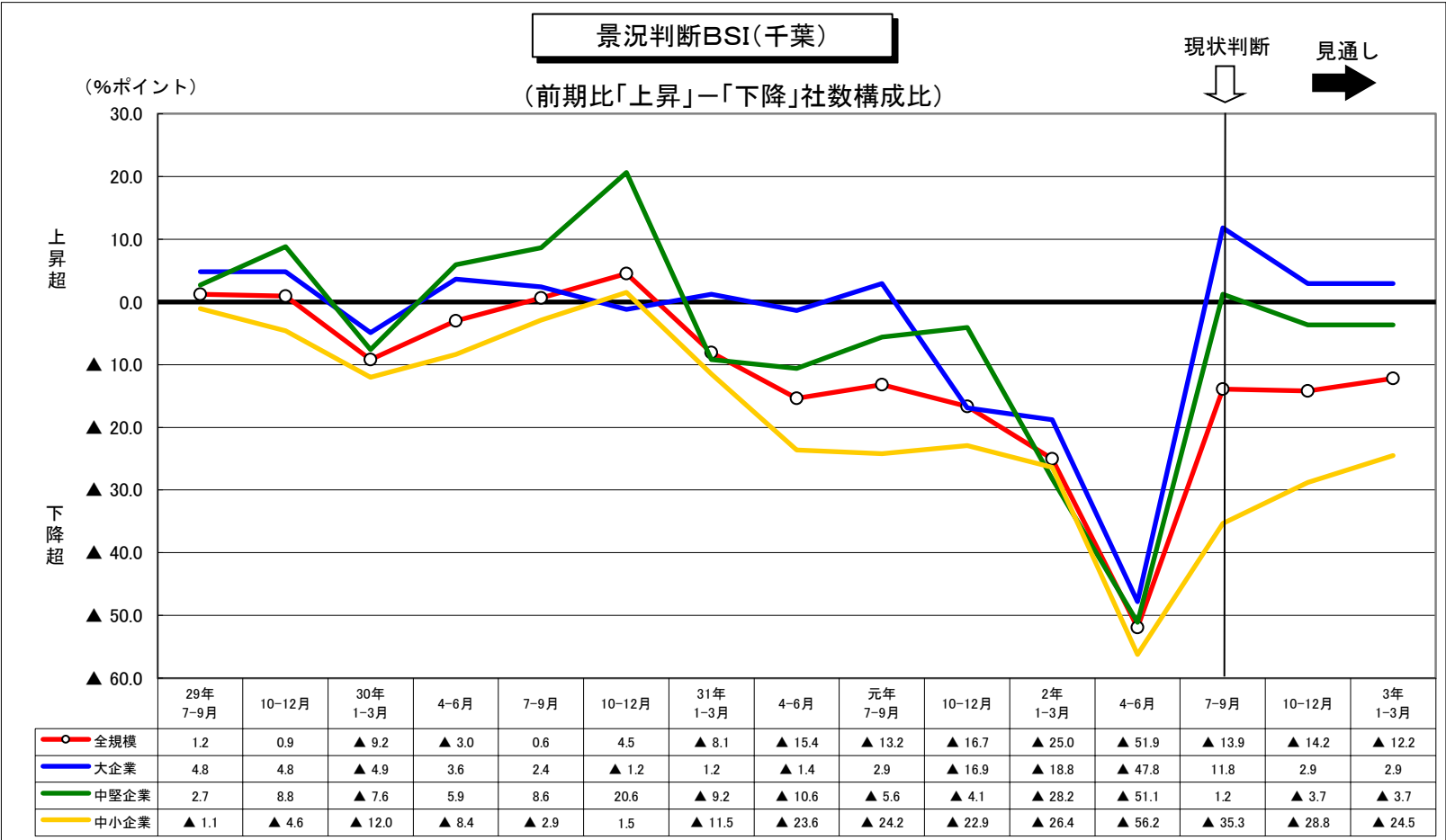
2年度は減益見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

6. 企業の景況感

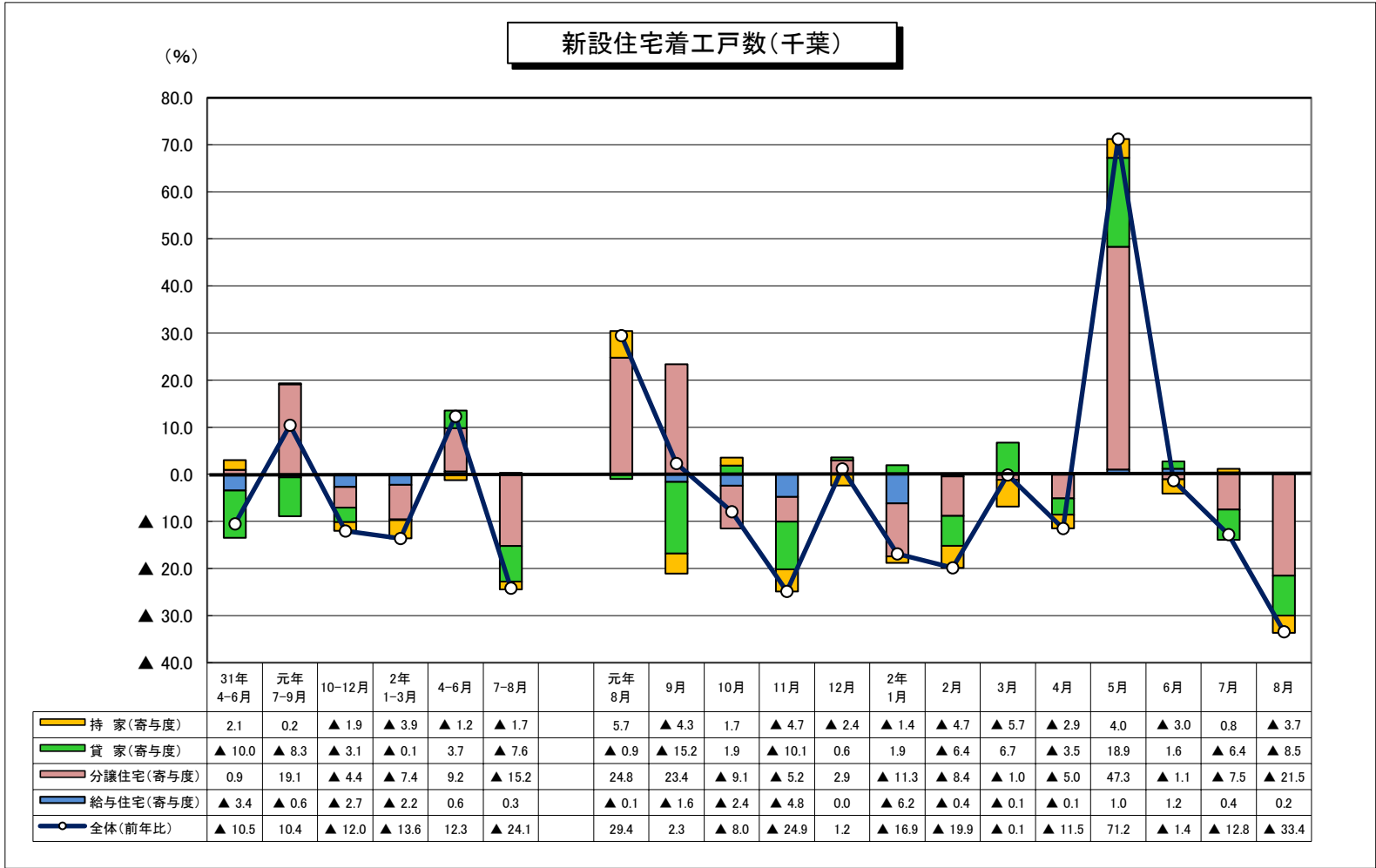
「下降」超で推移している



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

7. 住宅建設

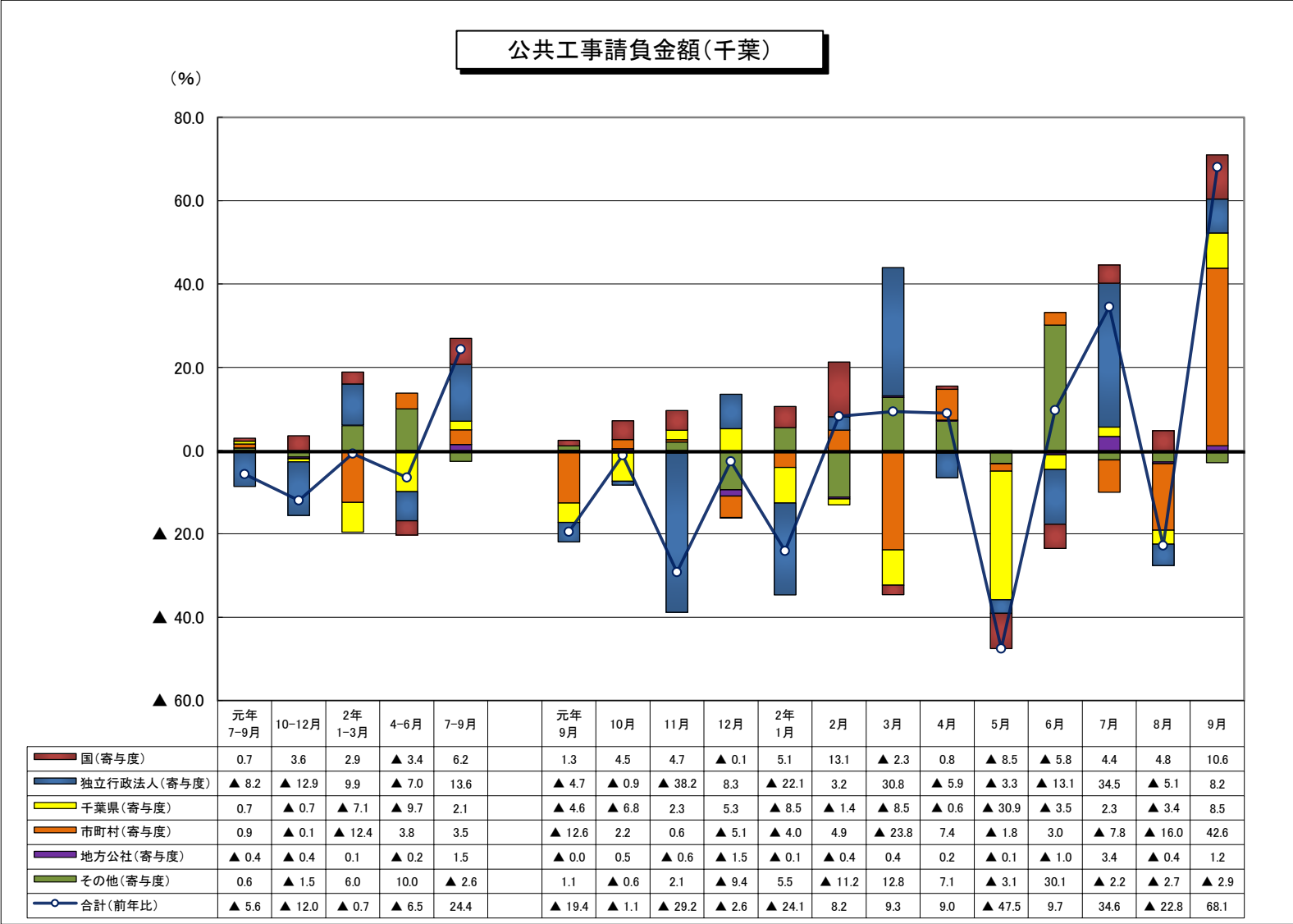
前年を下回っている



[国土交通省]

8. 公共事業

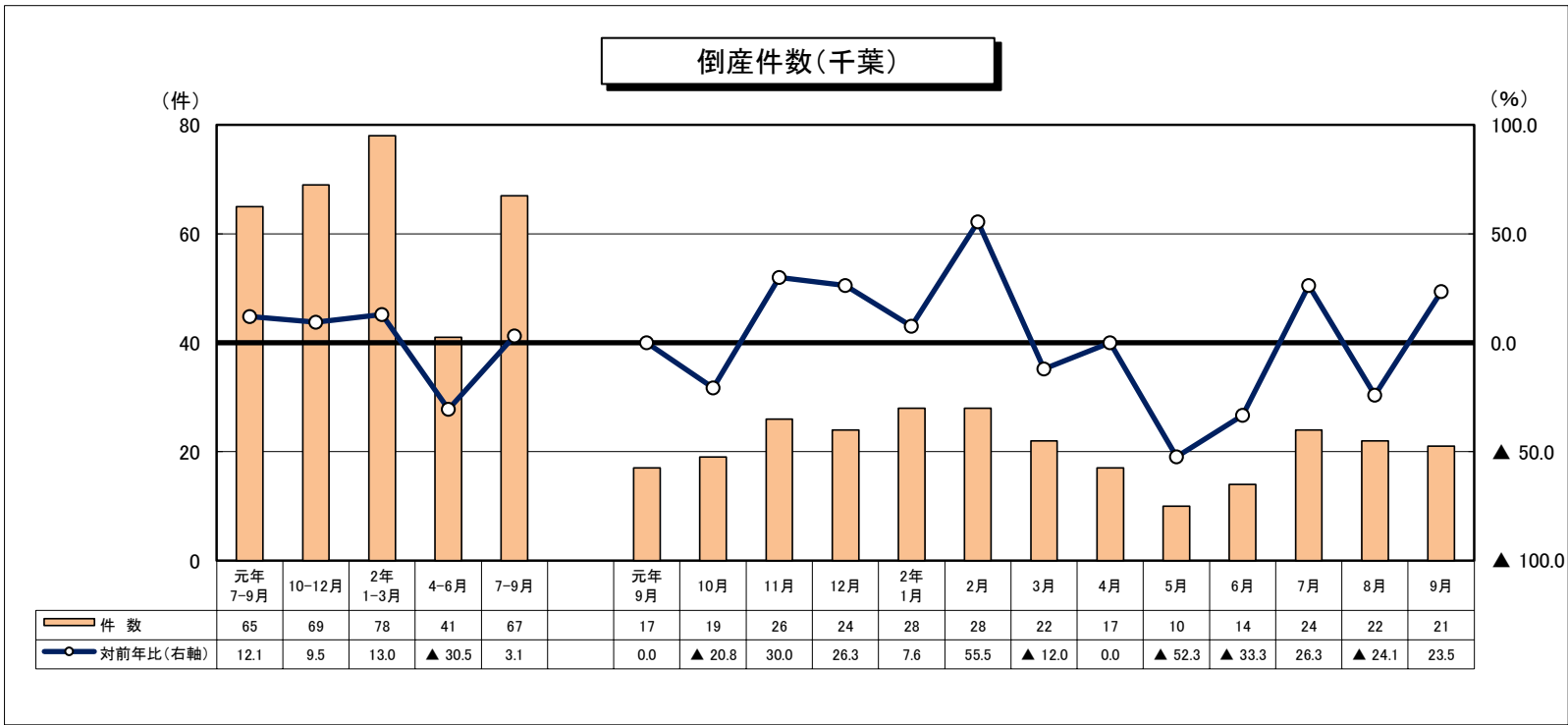
前年を上回っている



[東日本建設業保証株式会社他]

9. 倒産

前年を上回っている



[東京商工リサーチ]